

岡崎市社会資本整備総合交付金評価委員会議事録

1 日時

令和 8 年 7 月 2 7 日（月） 9：30～

2 場所

岡崎市役所 西庁舎 7 階 704 号室
（オンライン会議にて開催）

3 評価委員

出席者

委員長：名城大学教授	鈴木 温 氏
委 員：名古屋大学教授	井料 美帆 氏
委 員：名古屋大学准教授	中井 健太郎 氏
委 員：名古屋市立大学教授	三浦 哲司 氏

4 事務局

土木建設部建設企画課副課長	萩原 浩晃
土木建設部建設企画課主査	小林 隆幸
都市基盤部市営住宅課係長	北尾 豪

5 傍聴人

なし

6 委員会次第

(1) 開会

委員長選任

(2) 議事

「岡崎南地区地域居住機能再生計画」事後評価

(3) 閉会

7 配布資料

・事業説明資料

8 会議要旨

- (1) 本委員会は、「岡崎市附属機関等の会議の公開に関する要領」第2条に基づき、公開となることの説明
- (2) 委員長の選出、鈴木委員を委員長に選出
- (3) 議事（事務局説明、質疑応答）

9 議事内容

鈴木委員長	「岡崎南地区地域居住機能再生計画」の事後評価について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（「岡崎南地区地域居住機能再生計画」の評価結果、対応方針について説明。）
鈴木委員長	事務局の説明事項でご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。
三浦委員	評価結果については大きな異論はありません。集約によって住む地域が変わってしまう中で、既存入居者の意向を踏まえて丁寧に対応されたと認識しています。今後の整備においても、うまく引き継いでいって、多文化共生の観点も含めた入居者への対応を期待します。
井料委員	評価の方針に関して異論はありません。 五本松住宅について、移転前後で公共交通のアクセスはどのように変わりましたか。
事務局	五本松住宅は名鉄男川駅より徒歩10分の場所にあります。移転前のひばり荘、陣場荘、大池荘はJR岡崎駅より徒歩20分程度、大平荘は鉄道駅からは離れた場所にありました。
井料委員	入居者の高齢化が進んでいるとの話もあり、生活における移動手段の確保は重要な課題と考えます。どのように入居者の移動手段を確保するのかは、今後の計画において評価や指標の一つとして考えるとよいと思います。
三浦委員	買い物難民も増えている中で、どう対応するかも課題と考えます。
中井委員	評価自体は問題ないと考えます。 放課後児童クラブ、集会所の利用状況はどうでしょうか。
事務局	放課後児童クラブについては、定員数を満たす登録児童がおり、十分に活用されています。

	集会所については、地域交流の場として市営住宅の入居者以外も使用できるようになっていますが、団地外の住民による使用は限定的であり課題と考えています。
中井委員	放課後児童クラブが使われていることで、子育て世帯の支援に対する貢献も大きいと思います。集会所も積極的に使用されて住環境がより改善されていくと良いと思います。
鈴木委員長	手続きとしては妥当と考えます。 建替え前の既存住宅の入居率、エレベーターの有無、築年数はどうでしたか。
事務局	入居率はいずれの団地も9割程度で、エレベーターは設置されていませんでした。築年数は平地荘で50年程度、ひばり荘など4団地は40年以上です。
鈴木委員長	公営住宅の費用対効果分析における便益は何を測っていますか。
事務局	家賃、駐車場使用料、建物および土地の残存価値です。

10 結果

今回審議された1件の事後評価案が妥当であることを判断する旨、委員一致で採決された。